

授業科目(ナンバリング)	解剖生理学 I (IA110)			担当教員	佐々木 裕・熊井 まどか		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>解剖生理学では、生体の構造と機能について学ぶ。生体の構造と機能を理解することは、栄養学的・医学的な専門科目を学ぶ上での基礎となり、栄養面からヒトの健康に関わる管理栄養士にとって必須である。さらに、正常な生体の構造や機能が破綻した状態である疾病を理解するための基盤としても重要である。</p> <p>解剖生理学 I では、細胞と組織、血液、生体防御系、消化器系、呼吸器系、循環器系の構造と機能について理解する。</p>							① ② ⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<p>名称や専門用語を説明できる。</p> <p>生体の構造と機能を説明できる。</p> <p>生体の構造と機能を関連させて考えることができる。</p>				<p>・定期試験</p> <p>・小テスト</p>	<p>50%</p> <p>20%</p>	
情報収集、分析力	課題や疑問に対して、適切な文献等を選択し調べることができる。				<p>・定期試験</p> <p>・小テスト</p>	<p>10%</p> <p>10%</p>	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	<p>授業や課題を通して関心や疑問を持ち、質問や助言を求めることができる。</p> <p>計画的に自主学習ができる。</p>				<p>・授業態度・授業への参加度及び自主学習の取り組み</p>	10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の成績を60%とする。 ・第5回目と第10回目に30分程度の小テストを行い、その結果も評価に加える(30%)。 ・定期試験及び小テストは、筆記式、穴埋め式、○×式等を組み合わせた形式とし、名称や専門用語の正確性や生体の構造と機能の理解度を評価する。 ・試験の際、誤字・脱字は減点対象とする。 ・授業態度・授業への参加度として授業中の質疑応答、自主学習の取り組み、ポートフォリオの復習ドリルの取り組み及び返却後の小テストのやり直し等を評価する(10%)。また、小テスト、復習ドリル、リフレクションカードのコメント等のフィードバックは、授業内で行う。 							
授業の概要							
<p>解剖生理学 I では、はじめに生体の構成の基礎となる細胞と組織について学び、その後血液、生体防御系、消化器系、呼吸器系、循環器系の各器官系単位でその構造と機能を理解する。教科書のほかに、より理解を深めるための人体模型や視聴覚教材を用いて講義形式で授業を行う。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：第4版「管理栄養士を目指す学生のための解剖生理学テキスト」岩堀修明著(文光堂)</p> <p>参考書：健康・栄養科学シリーズ 解剖生理学—人体の構造と機能及び疾病の成り立ち—上嶋繁・濱田俊(南江堂)</p> <p>指定図書：第4版「管理栄養士を目指す学生のための解剖生理学テキスト」岩堀修明著(文光堂)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に該当する範囲の教科書を事前に読み、授業で用いた資料やノート及び復習ドリルを十分に復習すること。 ・授業中の私語、携帯電話(スマートフォンを含む)の不必要な使用に関しては、厳しく対処する。 ・特別な事情を除き無許可での途中退室は、認めない。不適切な態度の受講者は、出席として認めない。 							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	細胞と組織 1	細胞 (熊井)	教科書第 2 章 I, II の予習 細胞の構造と機能の復習 ドリルによる復習
2	細胞と組織 2	組織と器官 (熊井)	教科書第 2 章 III, IV の予習 組織の復習 ドリルによる復習
3	血液	血球と血漿 (熊井)	教科書第 5 章 I ~ V の予習 血球の種類と働き, 血漿の 働きの復習 ドリルによる復習
4	生態防御系	リンパ性器官と生体防御 (佐々木)	教科書第 5 章 VI ~ VIII の予習 液性免疫・細胞性免疫の 復習 ドリルによる復習
5	消化器系 1	小テスト (細胞と組織, 血液, 生態防御系) 口腔, 咽頭, 食道 (熊井)	教科書第 8 章 I ~ IV 予習 口腔, 咽頭, 食道の復習 ドリルによる復習
6	消化器系 2	胃 (熊井)	教科書第 8 章 V の予習 胃の構造と機能の復習 小テストのやり直し
7	消化器系 3	小腸, 大腸 (熊井)	教科書第 8 章 VI, VII の予習 小腸・大腸の構造と機能の 復習 ドリルによる復習
8	消化器系 4	肝臓, 膵臓 (佐々木)	教科書第 8 章 VIII, IX の予習 肝臓・膵臓の構造と機能の 復習 ドリルによる復習
9	消化器系 5	消化と吸収のしくみ (熊井)	教科書第 8 章 X, XI の予習 消化と吸収の復習 ドリルによる復習
10	呼吸器系 1	小テスト (消化器系) 鼻腔, 喉頭 (熊井)	教科書第 9 章 I ~ IV の予習 鼻腔, 喉頭の復習 ドリルによる復習
11	呼吸器系 2	気管, 気管支, 肺 (熊井)	教科書第 9 章 V ~ VII の予習 気管, 気管支, 肺の復習 小テストのやり直し
12	呼吸器系 3	呼吸 (熊井)	教科書第 9 章 VIII ~ X の予習 呼吸運動, ガス交換の復習 ドリルによる復習
13	循環器系 1	心臓 (熊井)	教科書第 6 章 I, II の予習 心臓の構造と機能の復習 ドリルによる復習
14	循環器系 2	主要な動脈, 静脈 (熊井)	教科書第 6 章 III の予習 主要な動脈, 静脈の復習 ドリルによる復習
15	循環器系 3	リンパ系, 循環器系の調節 (熊井)	教科書第 6 章 IV, V の予習 リンパ系, 循環器系の調節 の復習 ドリルによる復習
16	定期試験		

注) 授業の進行度により変更する場合がある